

先月の広報誌に引き続き、掲載できなかった生活部・畜産部・企画管理部への意見・要望への回答を掲載させていただきました。また、掲載されていないご意見・ご要望につきましても、真摯に受け止め、今後の事業運営に反映させて頂きますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

【生活部】

Q 松島給油所が休業しているが、今後再開するのか閉鎖か、検討がされているのか。

A 人員が確保できれば再開しますが、職員を募集しても応募が無く、再開の目途が立っていない状況です。今後とも再開に向け人員確保に努めて参ります。

Q 坂井SSを曜日営業にする理由は何か。また現在の月曜日・水曜日の午前中営業に加え、

金曜日も営業できないものか。

A 坂井SSの曜日営業については、要員不足によるもので、伏之前・南種子から各1名の応援により営業しております。今後とも月曜日・水曜日の午前中営業で対応していきますので、組合員・利用者の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

Q アグリスクールを1回しか行わなかった理由を教えてください。

A コロナが5類移行後もインフルエンザ等の流行もあったことから、上期に計画していた行事が実施できず、下期に計画していた安納芋の収穫体験のみの開催となりました。

Q 屋久島の電気事業について、固定資産取得計画で95百万の計画ですが、どれ位の収益が出ているのか。赤字になるようであれば、九電への移管も検討しなければならぬのではない

か。

A 電気事業については収益が436百万円で、費用が291百万円です。事業管理費を差引いた事業利益で、84百万円程となります。機器の老朽化や電線路改修が急務となっており、多額の固定資産取得計画となりました。電力安定供給の為に事業移管も検討課題であります。

Q 介護福祉事業については、島内の事業所も少なく、ヘルパー等人材不足で大変だと思いが、地域にとつては重要な事業なので、今後も事業を続けられるようしてほしい。

A 常時求人を行い人員確保に努めております。今後も利用者の要望に応えられるよう努めて参ります。

Q 屋久島の電気事業について、昨年の総代会で離島の電気事業は特別な事業枠があつて、その事業を利用すればもつと大きな改修や更新ができると思つていたと思うが、その後理事会等での議論や進展はあつたのか。

A 屋久島では昭和30年代頃から「農山漁村電気導入促進法」を活用した配電設備の整備を行い、電力の供給を行ってきました。平成10年の事業を最後に現在事業の活用はしていません。改修や更新については事業計画に則り実施しております。今後の屋久島の電力安定供給のために関係機関とも協議を行つて参ります。

Q 土地改良区の水利権をもっている取水口（鯛ノ川・千尋滝）より水力発電を行う計画があつた。屋久島では4つの電力販売事業者があり、電気料金も値上がりしてきている。JAとしても少しでも安価に電力供給できるように、JA全体として前向きに検討してほしい。

A 電気事業については、行政機関と大規模災害時における送電・電力供給について協議しております。今後とも関係機関及び島内配電事業社との連携・協議を継続してまいります。

【全体運】 家族との会話を大切に。何気ない会話が幸せを育みます。部屋の掃除は念入りに。寝具のクリーニングにツキ  
【健康運】 やけどや急な発熱に気を付けて。適宜休憩を  
【幸運を呼ぶ食べ物】 クワイ

蟹座 6/22 ~ 7/22

